

琉球大学学術リポジトリ

ヤエヤマサソリとマダラサソリ (クモ綱サソリ目) の波照間島からの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2020-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 河合, 上総, Kawai, Kazusa メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/46856



ヤエヤマサソリとマダラサソリ (クモ綱サソリ目) の波照間島からの記録

河合上総

〒500-8185 岐阜県岐阜市元町4丁目7番地 UNLOVED

E-mail: kawai.k.scorpion@gmail.com

要旨．日本在来種であるヤエヤマサソリ及びマダラサソリを波照間島の調査で発見したので報告する．前者の島別分布域はこれで宮古島、伊良部島、宮古島市下地島、多良間島、石垣島、西表島、小浜島、竹富島、黒島、波照間島、与那国島の計11島となり、後者は石垣島、西表島、新城(上地)島、波照間島、与那国島、父島、母島、硫黄島の計8島となった．

地)島、与那国島)、小笠原諸島(父島、母島、硫黄島)からの記録がある(表2;高島1945;下謝名1972;横塚2011;山崎ら2016;村松2007;高島1943,1948,1949;久保2001).また下謝名(1972)には本種が伊良部島にも分布している話を聞いたことがあるとの記載があるが標本を確認していない．今回、サソリ類の記録がなかった波照間島より両種を発見したので、ここに報告する．

はじめに

日本国内にはヤエヤマサソリ *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) とマダラサソリ *Isometrus maculatus* (De Geer, 1778) が分布している(青木2015). 両者共日本以外の国々にも分布域を持つ種類であり、ヤエヤマサソリは南アジアから東アジア、東南アジア、オセアニアやその周辺の島々、マダラサソリは赤道を一周する様に世界中の熱帯・亜熱帯地域に広く分布している(青木2015). ヤエヤマサソリの日本国内における分布域は琉球諸島であり、これまでに宮古島、多良間島、石垣島、西表島、小浜島、竹富島、黒島、伊良部島、宮古島市下地島、与那国島の計10島より確認されている(表1;岩川1906;下謝名1972,2015;高島1942;千木良・田中2004;田中2012;唐沢・川添,2005;河合2020). また、マダラサソリは、国内では宮古諸島(宮古島)、八重山諸島(石垣島、西表島、新城(上表1. 日本国内におけるヤエヤマサソリの分布と初報告文献.

Table 1. Distribution of *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) in Japan.

島名 Island	文献 Reference
宮古島 Miyako-jima Island	下謝名(1972)
伊良部島 Irabu-jima Island	河合(2020)
下地島(宮古島市) Shimoji-shima Island	河合(2020)
多良間島 Tarama-jima Island	下謝名(1999)
石垣島 Ishigaki-jima Island	下謝名(1972)
西表島 Iriomote-jima Island	高島(1942)
小浜島 Kohama-jima Island	千木良・田中(2004)
竹富島 Taketomi-jima Island	田中(2012)
波照間島 Hateruma-jima Island	本報告
黒島 Kuro-shima Island	唐沢・川添(2005)
与那国島 Yonaguni-jima Island	河合(2020)

記録

***Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775)**

ヤエヤマサソリ

(図1)

検討標本．♀, 体長23mm, 沖縄県竹富町波照間島(24°3'44.84"N, 123°45'35.20"E), 標高6m, 採取日2019年10月9日, 環境道路脇の樹木の根元, 河合上総採取, 個人保管．

備考．今回採取された個体の体長は23mmと小型で、体は扁平、後腹部が細長い．鉗は扁平で幅広く、触肢膝節に突出している部分がある．櫛状板歯は円筒形で太短い．また、頭胸部及び前腹部の大きさが後腹部の大きさより大きい．これらは青木(2015)によるヤエヤマサソリの特徴と一致する．Hormuridae科の性的二形としてオスは生殖口蓋が左右に分かれるのに対し、メスでは生殖口蓋が分けないという違いがある(Monod & Volschenk 2004, Liochelidaeとして)．今回採取された個体は生殖口蓋が分かれていな

表2. 日本国内におけるマダラサソリの分布と初記録文献.

Table 2. Distribution of *Isometrus maculatus* (De Geer, 1778) in Japan.

島名 Island	文献 Reference
父島 Chichi-jima Island	高島(1949)
母島 Haha-jima Island	高島(1943)
硫黄島 Iou-tou Island	久保(2001)
宮古島 Miyako-jima Island	下謝名(1972)
石垣島 Ishigaki-jima Island	高島(1948)
西表島 Iriomote-jima Island	横塚(2011)
新城(上地)島 Kamizi-jima Island	山崎ら(2016)
波照間島 Hateruma-jima Island	本報告
与那国島 Yonaguni-jima Island	村松(2007)



図1. 波照間島から得られたヤエヤマサソリ.
Fig. 1. *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) from Hateruma-jima Island.

いので、メスと分かった。

***Isometrus maculatus* (De Geer, 1778)**

マダラサソリ

(図2)

検討標本. 幼体, 体長 36mm, 沖縄県竹富町波照間島 (24°3'44.78"N, 123°45'35.16"E), 標高 6m, 採取日 2019 年 10 月 9 日, 環境 樹木の根元の落ち葉の下, 河合上総採取, 個人保管.

備考. 今回採取された個体の体長は 36mm と小型で, 体背面に斑紋が散在している. 尾節に毒針の他に突起を持ち, 鋏は細長く触肢膝節に突出部分は無い. 櫛状板歯は細長い. また, 後腹部の大きさが頭胸部及び前腹部の大きさより大きい. これらのうち体長以外の特徴は青木 (2015) によるマダラサソリの特徴と一致する. 体長の相違点に関しては今回採取された個体がまだ幼体であった為だと考えられる. そのため, 雌雄判別は不可能であった.

引用文献

青木淳一 (編著), 2015 日本産土壌動物 — 分類のための図解検索 第二版. Pp. 99–102, 東海大学出版会, 神奈川.
岩川友太郎, 1906. 本邦産の蝎類. 動物学雑誌, 207: 5–12.
唐沢重考・川添和英, 2005. 琉球列島におけるヤエヤマサソリ *Liocheles australasiae* (Fabricius) の分布 — 黒島からの初記録 —. Edaphologia,



図2. 波照間島から得られたマダラサソリ.
Fig. 2. *Isometrus maculatus* (De Geer, 1778) from Hateruma-jima Island.

78: 15–17.

河合上総, 2020. ヤエヤマサソリ *Liocheles australasiae* (Fabricius 1775) の分布域 — 伊良部島, 下地島 (宮古島市), 与那国島からの初記録 —. Fauna Ryukyuna, 54: 7–9.
久保快哉, 2001. 硫黄島訪問記. やどりが, 2001: 67.
下謝名松栄, 1972. 琉球列島の蛛形類の分布. 遺伝, 26: 100–106.
下謝名松栄, 2015. クモ綱 Arachnida・サソリ目 Scorpionida. Scorpionida. 青木淳一 (編著), 日本産土壌動物 — 分類のための図解検索 第二版. Pp. 99–102, 東海大学出版会, 神奈川.
高島春雄, 1942. 東亞産全蠍類脚鬚類の調査 (其の五). Acta Arachnologica, 7: 24–30.
高島春雄, 1943. 日本産全蠍目及脚鬚目. Acta Arachnologica, 8: 13.
高島春雄, 1945. 東亞地域に於ける全蠍目. Acta Arachnologica, 9: 85.
高島春雄, 1948. 南方諸地域に於ける脚鬚目概説. Acta Arachnologica, 10: 111.
高島春雄, 1949. 舊日本産蠍目目録. Acta Arachnologica, 11: 34.
田中聡, 2012. 竹富島産ヤエヤマサソリの繁殖について. 沖縄県立博物館・美術館博物館班 (編) 竹富島総合調査報告書. Pp. 7–12, 沖縄県立博物館・美術館, 沖縄.
千木良芳範・田中聡, 2004. 小浜島で確認された蛛形類、唇脚類および倍脚類について. 沖縄県立博物館 (編), 小浜島総合調査報告書. Pp. 13–19, 沖縄県立博物館, 沖縄.

- 村松稔, 2007. ハビル館だより. アヤミハビル館, 2007年1月第3週号.
- Monod, L. & E.S. Volschenk, E.S., 2004. *Liocheles litodactylus* (Scorpiones: Liochelidae): an unusual new *Liocheles* species from the Australian wet tropics (Queensland). *Memoirs of the Queensland Museum*, 49 (2): 675–690.
- 山崎仁也・松村雅史・吉田和久・力身恭二・目黒賢児, 2016. 鳩間島・新城(上地)島・黒島の動物相 (FAUNA) — 昆虫相を中心に. 沖縄県立博物館・美術館博物館班(編), 鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書. Pp. 69–80, 沖縄県立博物館・美術館, 沖縄.
- 横塚眞己人, 2011. 西表島フィールド図鑑 改訂新版. 実業之日本社, 東京.

Records of *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) (Hormuridae) and *Isometrus maculatus* (De Geer, 1778) (Arachnida: Scorpiones) from Hateruma-jima Island

Kazusa Kawai

UNLOVED, 4-7, Motomachi, Gifu-shi, Gifu-ken,
Post code 500-8185, Japan, E-mail: kawai.k.scorpion@gmail.com

Abstract. Two scorpion species, *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) (Hormuridae) and *Isometrus maculatus* (De Geer, 1778) (Buthidae), are reported from Hateruma-jima Island for the first time.

投稿日 : 2020年4月9日
受理日 : 2020年6月3日
発行日 : 2020年7月3日